



“ありがとう”を届けよう 笑顔いっぱいの岩室に！

岩室小学校



岩小キャラクター
みらいくん
ひかりちゃん

岩室小学校は、海・山・平野と、豊かな自然に恵まれた穀倉地域にあり、「岩室温泉」や「夏井のはざ木」「間瀬海岸」など、県内でも有名な観光地を校区にもつ学校です。また、地域と学校との結び付きは大変強く、子どもたちは様々な場面で地域の方々のご支援を日々実感してきました。

そんな中、「たくさんお世話になっている地域の皆さんに『ありがとう』の心を届けて、笑顔でいっぱいになってもらい。」こんな子どもたちの発案から「大好き岩室プロジェクト」がスタートしました。

地域を花でいっぱいに



地域の方や観光客の皆さんをたくさんの花で迎えることができるようにと、学校前にある県道沿い花壇で年2回、6月と10月に季節の花を植えています。花壇の長さは約80メートル。大変な作業ですが、ボランティアの皆さんのお力をお借りしながら、がんばって整備を続けています。



春はマリーゴールド、秋はビオラをプランターに植え付けました。1年生と5年生が植え付けたこのプランターは、環境委員会を通して、地域の公共施設や病院、お世話になっている店舗など16か所、計72個を届けました。届けた花は、施設のフェイスブックで紹介されるなど、様々な所できれいに咲き誇る花が、地域を明るく彩りました。



学校の裏庭に、来年の春、桜と菜の花と一緒に咲くよ。たくさんの人から見てもらいたいな。



子どもの声



私は菜の花の種をまいたり、肥料や水をやったりしました。春になって菜の花がたくさん咲いて、みんなや地域の人たちが笑顔になってくれたらいいなと思いながら育てました。春から育てたヒマワリも切り花として地域の方に届けました。受け取ってくれたみなさんが、笑顔いっぱいになって、とってもうれしかったです。



私たちが種から育てたヒマワリです。病院に飾ってください。みなさんが早くお元気になりますように。

お年寄りに花を



民生委員の皆さまのご協力をいただき、岩室地域に住んでいらっしゃる一人暮らしの高齢者の方々を中心に、年2回、春と秋に季節の花の鉢花や、子どもたちが育てたヒマワリの切り花をお届けしました。子どもたちは花を届けるだけでなく、その後も何回か訪問し、一緒に花の世話をしたり、お年寄りとお話をしたりしてきました。お年寄りのお宅に近い子どもたちが担当したことで、成長した子どもたちを見て懐かしいと喜ぶ方も多く、薄れかけていたご近所のつながりも再び復活しました。



もらった花鉢や切り花はたくさんの人に見てもらいたくて、自宅脇のミニ集会所に飾っています。みんなから花のことを聞かれると、自慢しながら子どもたちの活動を紹介しています。

おばあちゃんと一緒に花の手入れをします。時々、おばあちゃんが留守で残念に思う時もあります。そんな時は、お花にしっかり水をやって帰ります。



子どもの声



初めて家を訪問した時、喜んでもらえるか心配でした。でも、笑顔で「ありがとう」とお礼を言われたので、とっても嬉しかったです。これからも水やりを頑張ります。

ありがとうの心を「いわむろや」から発信

校区内にある新潟市観光施設「いわむろや」の協力を得て、2年生は生活科、3年生は総合的な学習で行った地域学習の発表会を、また4年生は音楽ミニコンサートを開催しました。この3日間、たくさんの保護者や地域の方、観光客の方から参観いただき、子どもたちの“ありがとうの心”をお届けすることができました。子どもたちへの心温まる応援や拍手、たくさんのコメントをいただき、子どもたちの大きな喜びと自信につながりました。



子どもの声



がんばったことは、間瀬漁港のことを大きな声で発表できたことです。歌も大きな声で思いっきり歌えました。たくさんのおうちの人や地域の方の前で発表できてうれしかったです。

地域の声

久しぶりに子どもたちの顔を見て、みんなの成長にびっくりしました。岩室に住んでいる私たちの知らない事までよく調べているのに感心しました。これからも岩室のいいところをたくさん発見してください。

子どもの声



「いわむろや」では、たくさんのお客さんがいました。私は「絶対にがんばるぞ」と思いました。大きな声で発表できました。発表が終わった時、たくさん拍手をもらいました。心がすっきりして、うれしかったです。